

2016年日本数学会出版賞の授賞候補推薦について

理事長 舟木 直久

20世紀以来著しい進展を遂げた数学の研究には我が国の数学者も大きく貢献しており、本会も我が国における数学研究の環境整備に努めて参りました。ところが、数学が高度に専門化したため、数学の果たす重要な役割が一般の方々はもとより、理科系の専門家にも理解されているとは言い難い状況があります。

一方、数学の魅力を巧みに伝える一般向け啓発書が出版されるという誠に喜ばしい事例も昨近相次ぎみられ、本会としましては側面から応援したいと考えております。また、数学諸分野の有機的連携を図り、自然科学、社会科学との協力関係を促進するためにも、数学の魅力や目覚ましい発展の真髄を他分野の専門家のみならず一般にも判りやすく伝える数学者の努力も奨励したいと考えております。

そこで、本会では「出版活動などの著作活動により、数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた活動を顕彰」するために、日本数学会出版賞を設けて2005年春に授賞を開始し、これまでに、次のように日本数学会出版賞を贈呈しました。

(敬称略，順不同)

2014年

- 結城浩

(授賞理由)「数学ガール」シリーズは、フェルマーの定理、ガロア理論、ゲーデルの不完全性定理といった、一般の読者にはなじみがないが、数学的には深くおもしろい題材を正面から扱いながら、青春小説としても魅力ある話としてまとめられており、多くの読者を獲得している。「数学ガール」という言葉は、本書によって社会に広まり、広く市民権を獲得するに至った。このことは特筆に値する。また結城氏は「数学文章作法基礎編」などの数学に関連した著作活動も活発に行なわれており、若い世代へ数学のおもしろさや考え方を広めた功績は大きい。これからもますます活発に活動されることを期待している。

- 雑誌「現代数学」(現代数学社)

(授賞理由)1968年に創刊され、その後「BASIC数学」「理系への数学」への名称変更を経て、再び「現代数学」の名称で刊行され続けている。数学のおもしろさを一般の読者によく理解できる形でつたえる雑誌として、40年以上奮闘し、連載記事もさまざまな形で単行本化されてきた。この雑誌が数学の普及に果たした役割を高く評価するとともに、創刊時の名称に戻った現在、さらなる飛躍を成し遂げられることを期待する。

- 金重明著『13歳の娘に語るガロアの数学』(岩波書店)

(授賞理由)本書は13歳の娘に数学を解説する形をとりながら、ガロア理論の考え方を、数学に興味をもつ一般の人へ、多くの例を通して解説した良書である。著者は

数学者ではなく、おもに歴史に題材をとる小説を著されており、和算をテーマにした小説もある。そのような著者が、ガロア理論の素晴らしさを学び、さらに歴史小説家としての経験も生かして執筆されたのが本書である。他にもガウスの平方剰余を扱った続編を刊行しておられるが、このような本は、数学を専門にしている人にはなかなか書けないかもしれない。著者のこれからの執筆活動にも期待する。

2013年

- 砂田利一
(授賞理由)「ダイヤモンドはなぜ美しい」「バナッハ・タルスキーのパラドックス」などの啓蒙的著作を含む幅広い活動により、数学の魅力を多くの人々に伝えてきた功績は顕著である。

2012年

- 「現代数学の系譜」全14巻、15冊 (共立出版)
(授賞理由) 1969年から28年間にも及ぶ息の長い企画により、完結に導いた叢書「現代数学の系譜」は、原典によってヨーロッパ近代の数学を体系的に概観できる貴重な資料であり、我が国の数学文化に大きく寄与するものである。

一昨年より前の情報は、<http://mathsoc.jp/prize/pubprize/> をご覧下さい。

2016年日本数学会出版賞授賞候補の会員による推薦を次の要領で募集します。

2016年日本数学会出版賞授賞候補の推薦要領

- **趣旨** 出版活動などの著作活動により、数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた活動を顕彰
- **授賞対象** 著作物、もしくは著作物等の著者、編集者、制作者、出版者などの個人または団体。
 - * 特定の著作物等のみならず、個人・出版者等による普及活動全般も授賞対象とします。
 - * 個人に授賞する場合は、授賞発表時点での存命者に限ります。
 - * 「著作物等」には、書籍、雑誌、ビデオ、DVD、電子媒体等を含みます。論文は研究業績を顕彰する他の賞の授賞対象でもありますので、原則として授賞対象とは致しません。
 - 著作物等の場合に想定する授賞対象としては、数学専門家向け書籍・雑誌、数学専攻大学院生向け専門書、学部学生用教科書、大学生・高校生・中学生・小学生等を対象とする啓発著作物等、非数学者向けの専門書籍・雑誌、一般を対象とする啓発著作物等が考えられますが、これら以外でも、賞の趣旨に適うものが推薦されてくれば審査対象とします。

- 和算関係の著作物等も授賞対象とします。
- 著作物等の場合、原則として日本語によるものを授賞対象としますが、日本人著者による外国語でのオリジナルな著作物等や、日本語による著作物等を翻訳して世界に普及させたものも授賞対象とします。
- 日本語への翻訳著作物等も、訳者、編集者、出版者を授賞対象とします。
- 著作物等の場合、審査時点で入手可能なもののみを授賞対象とします（推薦時に現物を提出する必要はありませんが、選考委員会が推薦者に対して審査対象著作物等の一時貸与を御願いする場合があります）。

● **推薦件数等** 他薦（各会員毎の件数は問わない）

● **推薦書類** A4 版用紙 2 枚以内に、次の事項を御記載下さい。

1. 推薦者氏名、数学会会員番号、連絡先住所、電話番号、電子メール宛先。
2. 特定の著作物等に関して推薦して頂く場合には、顕彰すべき対象と著作物等の書誌事項（著作者名・翻訳者名等、著作物等題名、出版者等名称、出版年、その他）。
3. 編集者・制作者・出版者等に関してその活動を推薦して頂く場合には、その対象名と顕彰対象とすべき具体的事項。
4. 推薦して頂く理由。

● **推薦書提出締切** 2015 年 7 月 1 日（水）（必着）

● **推薦書提出宛先** 〒 110-0016 東京都台東区台東 1 丁目 34-8 日本数学会出版賞選考委員会宛

2016年日本数学会出版賞授賞候補推薦書

必ずしも本書式を使用しなくて結構です。他薦する各候補毎に、下記の必要事項を A4用紙2枚以内 に御記載下さい。

推薦書提出締切 2015年7月1日（水）（必着）

推薦書提出先 〒110-0016 東京都台東区台東1丁目34-8 日本数学会出版賞選考委員会

- 推薦者氏名
 - * 数学会会員番号
 - * 連絡先住所
 - * 電話番号
 - * 電子メール宛先

- 他薦する授賞候補（件数は問いません。本号掲載の推薦要領を御覧下さい。）
 - *

特定の著作物等の場合

 - 顕彰すべき対象
 - 著作物等の書誌事項（著作者名・翻訳者名等，著作物等題名，出版者等名称，出版年等）
 - *

編集者・制作者・出版者の活動の場合

 - 顕彰すべき対象名
 - 顕彰対象とすべき具体的事項

- 推薦理由